

# 入田小学校 「学力向上実行プラン」

## 令和8年度学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
  - ・目的に応じたタブレットとノートの最適な指導方法についての研究
- 自主学習ノートの工夫による家庭学習の充実
  - ・発達段階に応じた自主学習ノートの使い方についての研究

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 特別支援学級担任	委員 校長 教頭・6年担任 1年担任 2年担任 3年担任 4年担任 5年担任 特別支援学級担任 学級担任補助 養護教諭	校長
---------------------	---	----

### ◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

#### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書き、四則計算等の基礎的な力は概ね定着してきている。 ●文章を正確に読み取る力や書く力が弱い児童がいる。 ●文章の構成を考えたり、推敲したりする力が弱い。 ●ICT機器の活用状況に個人および学年間で差が生じている。	・基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、様々な学習場面で活かすことができる。 ・幅広い知識を自ら求めることができる。 ・相手意識をもって文章を考えたり書いたりすることができる。 ・タブレットを目的に応じて活用することができる。	・朝のスタディタイムを有効に活用し、漢字、読解、作文、読書をすることで言語能力の育成を図る。また、算数の応用問題や文章問題等の力をつけるための学習を継続して取り組ませる。(主体的) ・優れた日記や作文を読んだり、掲示をしたりして、児童に紹介する。 ・タブレットを活用する時間を設ける。(主体的深い学びにつなげる)			

#### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○友達の意見をしっかりと聞くことができる児童が多い。また、自分の考えを積極的に発表できる児童が増えてきている。 ●場に応じて臨機応変に自分の考えを表現する力はまだ十分でない。 ●いくつかの資料から情報を選択し、筋道を立てて文章で表現したり、解決したりすることに課題がある。	・自分の考えを、根拠や理由を明らかにしながら表現することができる。 ・他者の意見を取り入れながら、根拠をもとに多面的・多角的な自分の意見を持てる。 ・資料からわかることを根拠にして、考えを表現する。	・ホワイトボードや付箋、タブレット等を用いて、考えや思いを述べたりする場面を増やす。(対話的) ・他者の考えを踏まえ、自分の考えを付け加えて話し合う活動を設定する。(主体的・対話的) ・多面的・多角的な考えが持てるように発問を工夫する。(深い学びにつなげる) ・視点を提示して、振り返ることができるようにする。(深い学びにつなげる)			

#### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に、まじめに取り組むことができる。 ●自ら課題を見つけ、主体的に取り組むことに課題がある。 ●不得意な学習内容に対して、見通しをもって取り組むことに課題がある。 ●自主勉強ノートの活用状況に個人および学年間で差が生じている。	・決められた学習や自主学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題の解決に生かすことができる。 ・既習の学習を生かし、他教科の学習や生活を関連づけることができる。	・ノート指導を徹底するとともに、自分の考えや気になることなども書く習慣を身につけさせる。(主体的) ・タブレット学習を活用して、主体的な学習への意欲を高めさせる。(主体的) ・各教科の関連事項を積極的に活用する。(深い学びにつなげる) ・自主勉強ノートを活用できるよう、個別にノート学習について定期的にアドバイスするようにする。(主体的・対話的)			

## 令和8年度 学力向上ロードマップ

